

分54号

THE
PUBLIC
RELATIONS

るもい

広報

10月号のおもな目次

- ◆ これで経営合理化の夢を…………… 2P
- ◆ このごろの話題…………… 3
- ◆ 華やかに第2回市民文化祭…………… 4
- ◆ 明るい暮らし…………… 5
- ◆ 第1回市民体育大会画報…………… 6
- ◆ 手記「輪禍」は訴える…………… 7
- ◆ 読書で知る秋…………… 7
- ◆ 順調に進む財政再建…………… 8
- ◆ あすへの鼓動 ③…………… 8
- ◆ 火災保険号が贈られる…………… 9



○
読んだあと毎号として保存してください
いつか役に立つことがあります。

沿岸漁村をかけめぐる

○…「やあ、こんにちは」ときょうも漁村まわりに余念がない。

にしんの凶漁に痛めつけられた沿岸漁村だけに、その指導はなみたいていではない。

○…机の上での沿岸漁村振興も大切だがそれにもまして、にしんの夢がすて切れずにいる沿岸漁民の精神面の指導が必要だと、あちらの漁村、こちらの漁村と作業衣姿の水産係長でもある二村さんが飛びまわるのはめずらしくない。

○…はじめの頃は、いくら沿岸漁業の転



水産普及員の
二村 明さん

換を呼びかけても、話につてくる漁民はいなかつた。でもくじけなかつた。黙々と沿岸漁民の生活のみちを見つけるのに試験、研究を続け、きよねんは礼受海岸で「のり養殖試験」が成功。ことしは道からも認められ大々的なテスト採業が行われる。

○…漁業振興のかけには、こうしたかくれた人々の汗の結晶が数多くあるが、水産普及員の夢は、多角的な経営により安定した漁村を築くところにあるという。